

こすきた通信

COS 下北沢通信

VOL. 10
2013年4月

編集+発行=特定非営利活動法人コスファ COSFA

「ちいきの庭」を目指して ～シンボルツリーとベンチがある潤い空間～

誰でもが集まるちいきの居場所 COS 下北沢。一昨年・昨年と続いたホールの整備に続いて今年は、外回りです。すでに、小学生の駆け込みポイント、地域のトイレ、乳幼児の授乳ポイントになっていますが、2つの支援制度（※）の助成を受け、地域のベンチの設置と近隣3軒との連携で地域の緑を増やす活動を開始しました。



① 3月16日…緑の手入れ！

助成目的の緑を増やす活動です。花壇の手入れの他、助成を受けたご近所のお宅のベランダ用にコニファとツルニチニチソウの寄せ植えについて園芸指導を受けました。夏には上手に垂れ下がって緑が増えることでしょう。助っ人庭師さんはオリーブを剪定。



② 3月24日…シンボルツリー！

一時保育『ていんかあべる』にシンボルツリー「ドイツトウヒ」を植樹。今からクリスマスツリーが楽しみ！ゴーヤ用のプランターには、おかげ宅配『グループ菜』からの野菜クズを入れて土づくり。伸び放題のハーブ類もきれいにしました。



③ 3月26日…ベンチ！

ヒノキ材が清々しい COS 下北沢独自のベンチ、誰もが気軽に休憩できる「誰でもベンチ」です。限られた敷地の中で、設置場所を工夫した結果、ユニークな形のベンチが完成。材も COS 下北沢と同じ「東京の木」にこだわりました。



④ 3月29日…ゴーヤ！

ゴーヤ用の竹がきが古くなり、新しくネットにすることにしましたが、この際2階の窓まで伸ばして、COS 下北沢ホール内の省エネ効果も狙います。高さ5メートル。U設計室の協力で、しっかりしたポールと留め金を設置。準備OK、夏が楽しみです。



※財)世田谷トラストまちづくり「3軒からはじまるガーデンデザイン」支援制度助成(平成24年度)
※セブンイレブン記念財団の《東京の緑を守ろうプロジェクト助成》(2013年度)

ちいきの『元気』の発信基地 COS下北沢 どことなくウキウキザワザワ…おもしろ企画が増えてきました

まもなく10年を迎えるCOS下北沢。2012年度はより多くの方々にCOS下北沢を知っていただくこと、利用していただくための議論を重ねました。年度はじめのCHC影山氏の講演からは、外部から見たCOS下北沢の魅力とその生かし方、運営のアドバイスをいただきました。それらを参考にしながら利用料の改定やホームページのリニューアルなど、発信の工夫をしました。少しづつですが、後半定期的な講習会やチャレンジングなご利用が増えています。



影山さんの講演「COS下北沢運営 =ふりかえりと今後にむけて=」

2012年5月7日、COSFAの運営について継続（発展）していくための改革の工夫、提案を大胆にお聞きしたいと思い、「共に住む、共に生きる、共に創る」をテーマとしてコレクティブハウジングに先進的な取り組み・活動をされている影山知明氏に講演をお願いしました。COSFAの取り組みの現状と問題意識（課題）をお話した上で、忌憚のないご意見をいただきました。

■ COSFAからの意見（問題意識）

- *全体会では、目の前の課題に追われて最近はどうあるべきかの話はしていない。
- *カフェ単体としての運営は難しかった。せっかく来てみたらやっていることもあった。しつらえや雰囲気づくりについてオーナーの思いと対立することもあった。
- *この建物は何か、賃料を安くしてもらっていることはどういうことか。各事業体か、NPO本体なのか、どちらに軸足を置くべきか。
- *カフェの運営に理念を優先するのか利益を優先するのか。理念を理解してもらいつつ、どうやったら運営していくことができるのか。

■ 影山さんからの提案

1) エントリーマネジメント

ハードがあっても勝手にコミュニティができるわけではない。「エントリーマネジメント」が必要。

ポイントは「入り口」。「入り口」でコミュニティ全体に個々がどういう役割を果たすのかを理解してもらう。その上でコミュニティに入ってもらうことが大切。最初から「いい」と思って入ってくれれば問題が起きにくいはず。

2) コミュニティづくりのリズム

コミュニティづくりは「である (be)」ではなく、「つくる (do)」もの。放っておくと、コミュニティに遠心力が働き始めてバラバラになってしまう。

コミュニティには「リズム」が重要。一定頻度で顔を合わせる、作業をすることで、人々のむすびつきが安定する。たとえば、「コモンミール」(みんなでごはんを食べる)、みんなで掃除をするなど、日常の中にリズムを取り込むことが必要。

3) 全体会のやり方

全体会もコミュニティのリズムづくりのペースメーカーになる。楽しくないとするならやり方を変えてみてはどうか。

- 1) 崩壊に議題を設定しない自由な話し合い(最近気になること、たわいもないアイデアなど)を設ける。

- 2) 第三者的な人を入れる。内輪になってしまふと、他の人が入りにくい条件が増えてしまう。
- 3) 全体会とは別に、新しい人が参加できる機会を設ける。改めて自己紹介や今までの経緯などを話す場として機能させる。

4) カフェスペースとしての可能性

カフェの営業再開を検討してはどうか。場所としては採算が取れないのが不思議なくらい。へんぴなところにあるお店の方が価値があることも。人間はより多くの苦労をして手に入れたものに価値を感じる。オープンテラスやドッグカフェなどはどうか。

カフェが自由になりすぎるとお客様が不自由になってしまう。お客様に自由でいてもらうためにはカフェ側が不自由になる必要がある。営業が第一優先で、その妨げになるようなイベントは基本的にしない(あるいは曜日で分ける)。メニューもきちんと出せるよう準備する。これはお客様との約束。

5) 外への広がり

外から利用する人たちのコミュニティを一回り外につくる。「不特定多数」でも「特定少数」でもない、「特定多数」に開放するというやり方がある。COSFA会員の一回り外にサポート会員のような制度を設ける。一定の思い入れを持ってもらい、いざという時に一肌脱いでもらうしぐみ。

「お客様」ばかり増やしてもしょうがない。増やしたいのは「扱い手」。それには「お客様」扱いしそうない、同じ仲間として受け止め、つくる過程から参加してもらうことが重要。

■ さいごに (COSFAから)

- *今まで事業者の自由を優先してきたため、カフェが不自由になっていた。それを逆転させ、自分たちが不自由を受け止めることで大きな自由を得る必要があるかもしれない。
- *自分たちは他人に貸し出す発想しか持っていないかった。カフェを戦略基地のような位置づけで評価するところまでいっていない。カフェを外部を開くことをどう評価するか、どう方向付けるかがこれから課題。

■ 影山知明さんの紹介

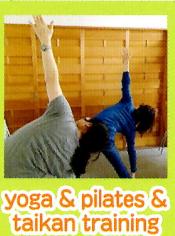
世田谷まちづくりファンド運営委員のほか、NPO法人コレクティブハウジング社(CHC)代表理事、マージュ西国分寺・クルミドコーヒーのオーナー、ベンチャーキャピタルの運営にも参加。COS下北沢ホールの利用者もある。



バラエティー豊かな COS 下北沢利用団体

「COS下北沢はチャレンジするあなたを応援しています!」こんな呼びかけに応えるように、たくさんのサークルや活動団体が、自由度の高い活動を幅広く行なっています。COS下北沢建設当初からずっと継続している団体から、ごく最近活動開始の団体まで、定例・不定期あわせて、どんどんバラエティー豊かになっています。

2013年6月の予約カレンダーより

月	火	水	木	金	土	日
 書道教室	28	29 10:00 yoga & pilates & taikan training	30 14:00 コーデ騎士団 なんでも相談	31 13:00 じょんのび会	6月1日	2
10 10:00 書道教室 13:00 じょんのび会	4 10:00 鶴のお宿	5 10:00 yoga & pilates & taikan training	6 14:00 コーデ騎士団 なんでも相談	7 13:00 じょんのび会	8 14:00 ちぎり絵	9
17 10:00 朗読の会 13:00 じょんのび会	11 10:00 マナブdeアソボ “づくりんぐ”	12 10:00 グループ縫い縫い	13 10:00 手作り石鹼教室 Teca Labo テカラボ 14:00 コーデ騎士団 なんでも相談	14 13:00 じょんのび会	15 11:00 K&Aビーズ教室	16 12:00 ニットカフェ
24 13:00 じょんのび会	18 	19 10:00 yoga & pilates & taikan training	20 14:00 コーデ騎士団 なんでも相談	21 13:00 じょんのび会	22 10:00 マナブdeアソボ “づくりんぐ”	23 13:00 ポタニカルアート
		26	27 14:00 コーデ騎士団 なんでも相談 17:00 ワンコインバー	28 13:00 じょんのび会	29	30 



手作り石鹼教室
TecaLabo テカラボ



カルトナージュ教室
アトリエプリモ

■マナブdeアソボ づくりんぐ



日本デザイン専門学校の先生である片桐さんを中心に、教え子や知人・友人・卒業生のみなさんらで運営、毎月第2火曜と第4土曜に開催、左官材やシルバー、樹脂などを使った本格的なものづくりが実費程度で楽しめます。これからどんどん仲間になってくれる人、募集しています。初心者でも歓迎です。一緒に学んで遊んでください!

*ワークショップの予定は以下をご覧ください。
<https://www.facebook.com/Dzukurinku>



ご利用料金改訂について

今まで以上にたくさんの方々にCOS下北沢の施設を使っていただきために、地域活動に限定せず、起業や様々な分野のお稽古事、講習会など利用の範囲を広げ、利用料金もシンプルに改定しました。備品その他詳細については、ホームページをご覧いただか、お問い合わせをお願いします。

場所(曜日)	料金	備考
ホール(平日)	500円/時	2時間以上
ホール(平日)	3000円/日	10時~17時
カフェスペース(ホール含)	1000円/時	2時間以上

*初めて利用されるときに協力会員(年会費1000円)として登録していただきます。

*コスファ会員・賛助会員の利用割引: 3回目のご利用から、利用料金を2割引とします。

*土・日・祝・夜間(18時以降にかかるご利用)別料金1000円の加算となります。

*一日は10時~17時、夜間は18時から最終22時までの時間帯です。

*ご利用時間には、準備・片付け時間も含んで下さい。

COS下北沢トピックス

- 5月7日 CHC 影山氏講演会 ①
- 6月20日 コスファ総会、NPO法改正に伴って定款変更
- 9月1日 ホール&カフェ利用規定・料金の改定
- 10月28日 下北沢大学ハロウィンポイント参加 ②
- 11月14日 法律相談会
- 11月25,26日 わくわくワークフェスタ参加 ③
- 12月 (財)世田谷トラストまちづくり
『3軒からはじまるガーデンデザイン』
支援制度助成決定
- 2月20日 2013年度セブンイレブン記念財団の
『東京の緑を守ろうプロジェクト助成』
団体に選定
- 3月1日 ホームページスケジュール表公開
- 3月16,24日 植栽イベント
- 3月29日 法律相談会 ④
- 4月 ホームページリニューアル ⑤
URLやメールアドレスが新しくなります!



COS下北沢 視察・見学のみなさん

- 4月25日 副区長 板垣正幸氏
1月31日の副区長秋山由美子氏に続いて見学。
- 6月12日 財団法人世田谷トラストまちづくり
インターンガイダンス参加学生見学。
- 8月7日 生活クラブインクルーシブ事業連合のみなさん
「ちいき共生の家」見学。
- 9月22日 みやぎ生協のみなさん
石巻3店舗津波で損壊。2店舗は再開、1店舗は建物が地域の中で唯一残ったので、店舗ではなくコミュニティスペースを模索。
- 9月27日 堺市の役所関係NPO、大学、自治会長のみなさん
泉北ニュータウン・高齢者が地域に住み続けるためのしくみを地元NPO等と連携しての取り組み。「地域共生のいえ」を参考に見学。
- 9月28日 愛知県長久手市役所のみなさん
市長の施策・住民参加プロジェクト事業実施にむけての視察。
COS下北沢建設時に訪問した「ぼちぼち長屋」を運営されていた吉田さんが現在長久手市長さんとわり、話が盛り上りました。
- 11月2日 静岡県牧之原市「市民ファシリテーター」のみなさん
これから来るであろう津波への防災計画づくりの参考に。
- 11月9日 韓国都市計画学会の視察団
20名もの参加で、雀のお宿(マージャン)で賑わう中、活発なご質問がありました。特に建設基金の調達について若い女性からのていんかあべるについてのお尋ねが印象的でした。

- 12月 日本デザイン専門学校講師・片桐慶子さん
COS下北沢を拠点にものづくりの発信を。特に若者の就労に向けてのスキルアップの機会と地域へのものづくりの楽しさを発信したい、との想いはCOS下北沢にぴったり! (3ページ参照)
- 2月22日 光琳ランドスケープ庭師・梶原光太郎さん
植栽のお手伝いをひきうけていただきました。(1ページ写真)
- 3月15日 《東京大学高齢社会総合研究機構》
ジェロントロジー・ネットワークCP分科会のみなさん
5つの大手企業社員が参加メンバー。超高齢化社会に向けてできることとは?がテーマでした。COS下北沢の設立経緯からお話をしましたが、共同できることの可能性を示唆されました。

※この他にも、ホールやカフェの下見や問い合わせに多数の方がお見えになっています。

特定非営利活動法人コスファ COSFA 会員入会・ご寄付のお願い

東日本大震災・福島第一原発事故から丸2年。2012年度はCOS下北沢で関連企画は催されませんでしたが、あみぐるみ協会が「福島の子どもたちとともに・世田谷の会」主催の「ふくしまっ子リフレッシュ in 世田谷」冬の保養プログラムにボランティア参加し、あみぐるみの体験ワークショップと会員作成のあみぐるみを子供たちにプレゼントしました。

被災そのものの風化も喧伝されるなか、被災された方々の懸命な姿から学ばせていただくことが多いくらいです。「決して忘れない」を心に刻み、これから日本の日本を担う世代への責任を日々の活動の中で模索していくなら、と思う毎日です。引き続き下記の要領で会員・ご寄付をお願いいたします。

○会員(個人・団体)	年会費	10,000円
○賛助会員(個人・団体)	年会費	5,000円
○協力会員(個人・団体)	年会費	1,000円

[郵便振替口座]
00110-3-262382
名義=特定非営利活動法人コスファ COSFA

[銀行口座]
三菱東京UFJ銀行 成城学園前支店
普通預金 4521273
名義=特定非営利活動法人コスファ COSFA

COS下北沢 は こちら です

世田谷区北沢 2-39-6

京王井の頭線「下北沢駅」西口から徒歩4分
小田急線「下北沢駅」北口から徒歩5分



発行日=2013年4月30日

編集+発行=特定非営利活動法人コスファ COSFA
〒155-0031 世田谷区北沢2-39-6 COS下北沢
TEL & FAX. 03-3481-5340
E-mail. info@npocosfa.com (← new!)
URL. http://www.npocosfa.com/ (← new!)

編集協力=株式会社 世田谷社
E-mail. info@setagaya-sya.org
URL. http://www.setagaya-sya.org/